

# 諸外国の大学入学制度

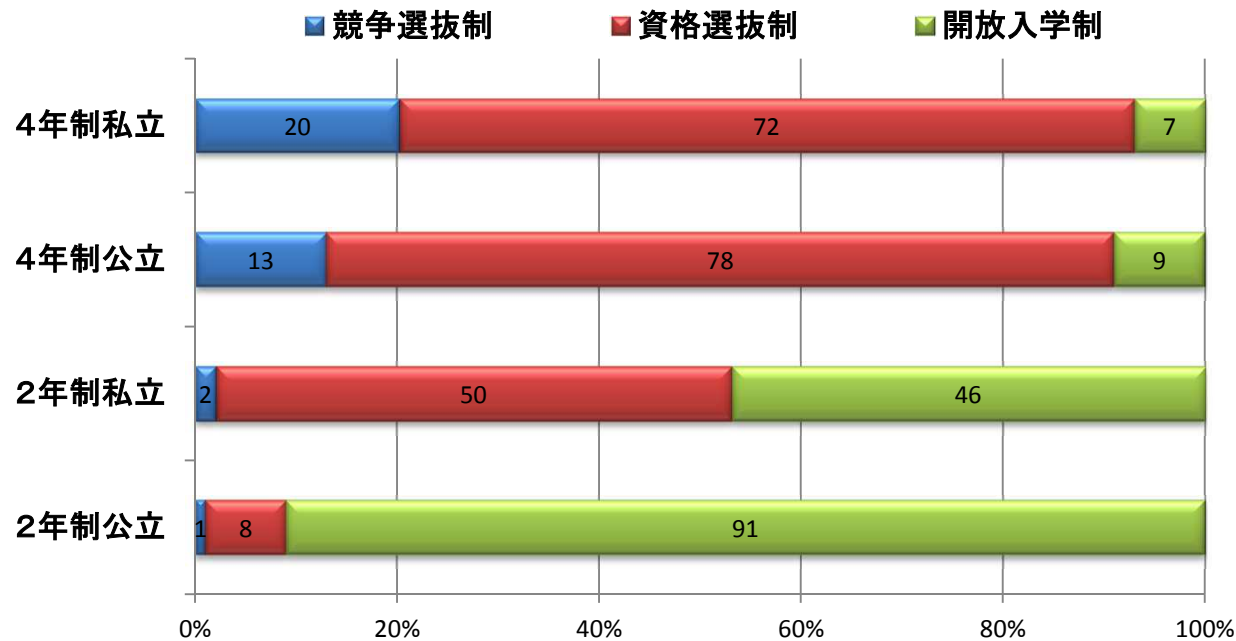
於. 教育再生実行会議

荒井克弘(大学入試センター)

# アメリカの大学入学制度

大学入学基準の統一的資格基準はない。  
選抜に重視される資料

- 1 高校成績：履修科目の内容と成績
- 2 共通入学テストの成績：SAT or ACT
- 3 推薦書、エッセイ、インタビュー等
- 4 AP(Advanced Placement Program)の成績



(出典) College Board et al. 2002, *Challenges in College Admissions 2000*

※資格選抜制:各大学が定めた基準(高校の成績、SATやACTの結果等)に達していれば入学許可。

# SAT (Scholastic Assessment Test)

- 1941年からカレッジボード協会が選抜テストに使用。旧称は「進学適性検査」。
- 主に選抜性の高い大学で使われる。
- 複数回の受験が可能 (年7回実施)。164万人(2012年)が受験する。
- アメリカは高校教育が地域ごとに多様であり、達成度テストの利用は困難。
- SATは「言語領域」と「数学領域」に加え2005年から「Writing」が追加された。
- 多肢選択式、Grin-in式 (穴埋め式)、記述式の解答方式、試験問題は非公表。
- 1科目800点、3科目で2,400点。試験時間は全部で4時間程度。

※「言語」、「数学」、「Writing」の3領域の他にsubject型 (5分野) のテストもあるが、利用大学は限定されている。

# ACT (American College Testing Program)

- 創設は1959年。
- 教育テスト、Placement (適正配置) のツールとして開発された。
- 学力プロフィールを診断し、適切な大学教育の場とのマッチングを図る。
- 英語・読解力・数学・科学の4領域 (科目)。1科目36点、合計点も36点に変換。
- 試験問題は非公表、試験時間は全部で4時間程度。
- 複数回の受験が可能 (年6回実施)、受験者数は166万人(2012年)。
- 興味検査 (ACT 職業探査シート) と学力成績とを合わせた診断が特色。

# SATの得点降下(1963~80)

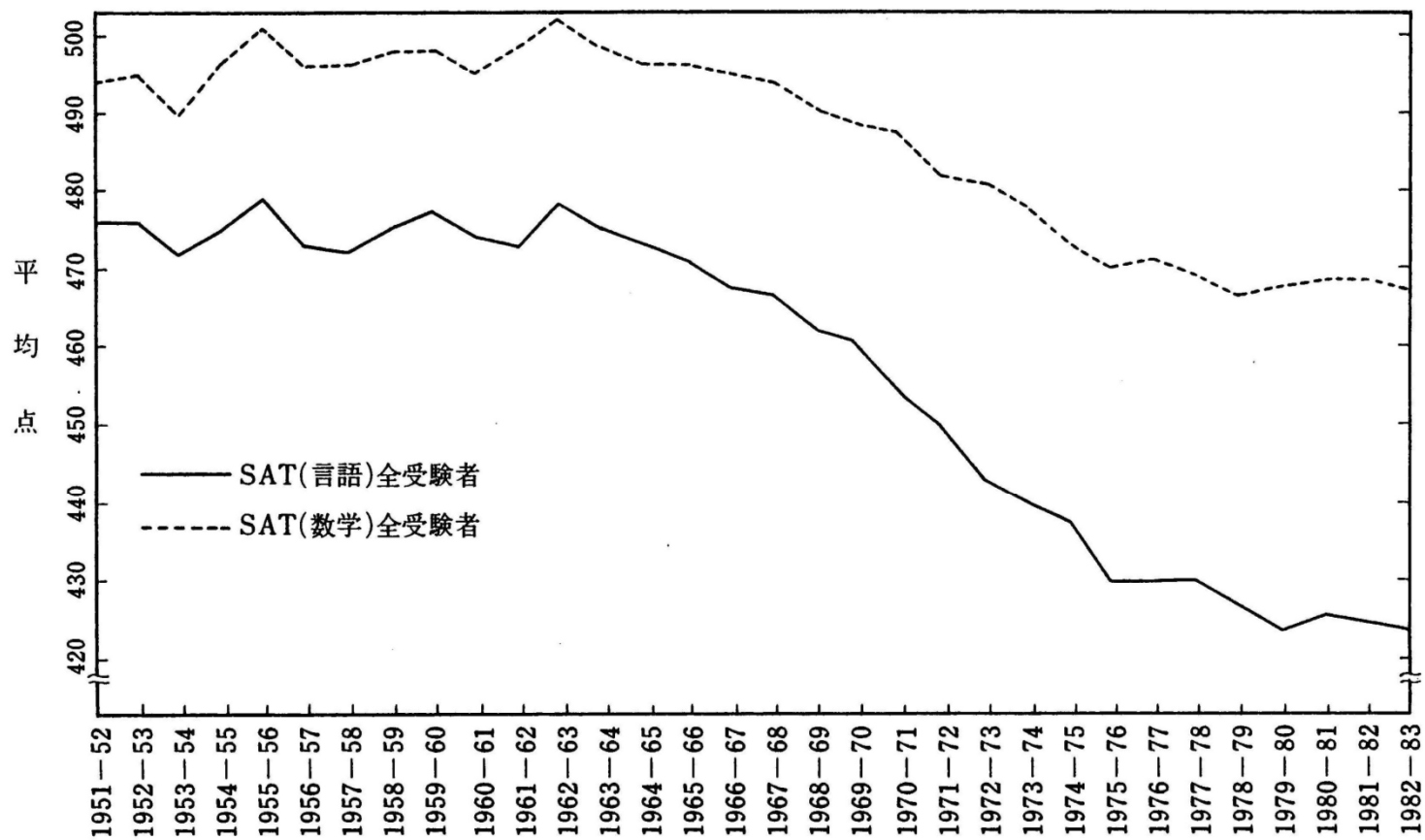
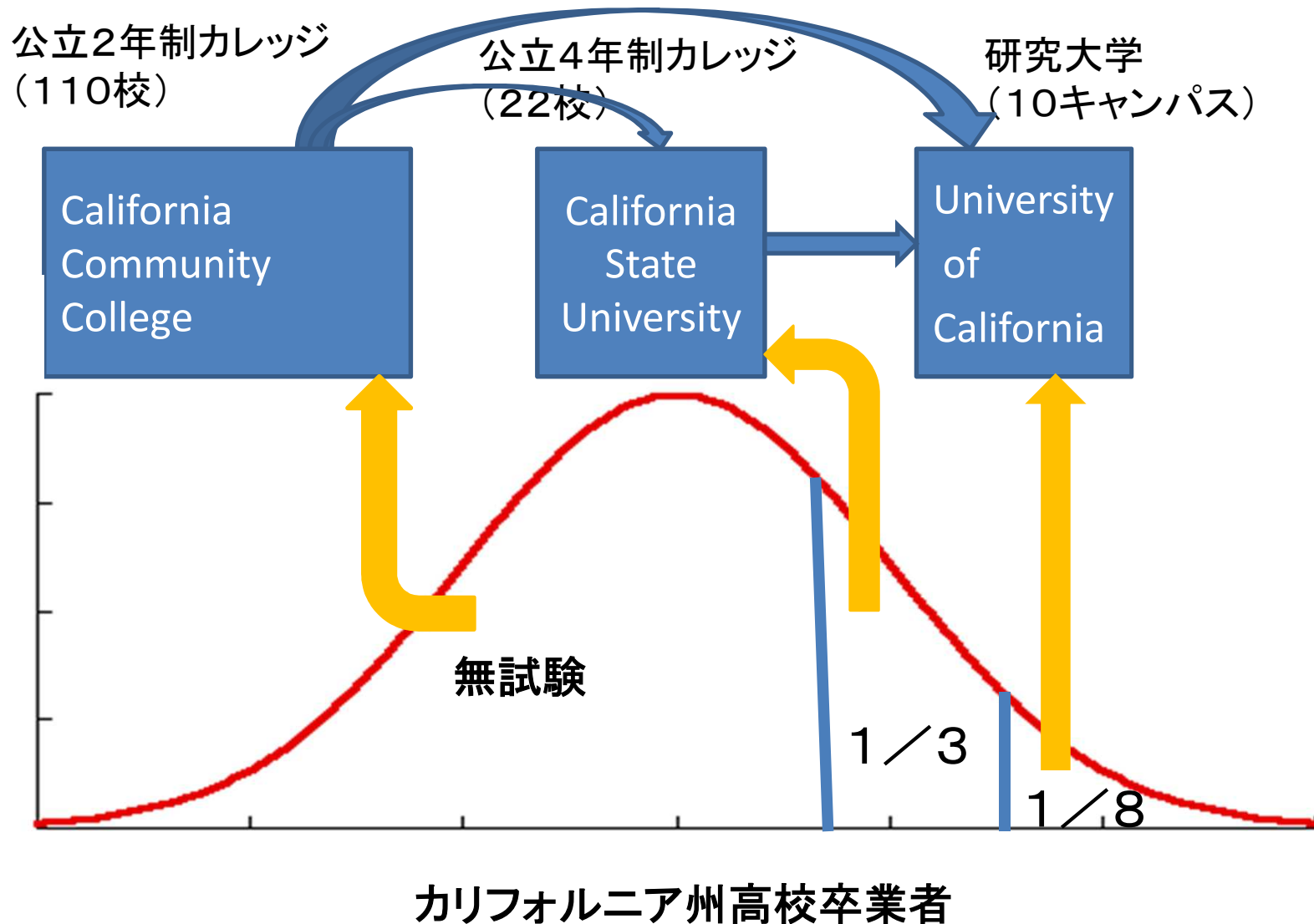


図 6・1 等化平均値による SAT の経年変化

(Donlon, T. F. (Ed.). *The College Board Technical Handbook for the Scholastic Aptitude Test and Achievement Tests*. College Entrance Examination Board, 1984. より)

# 機会の平等と質の維持；学生の転学システム カリフォルニア州高等教育システム（1960）



# フランスの大学入学制度

バカロレア（中等教育修了資格）は大学入学のための国家資格。  
バカロレアを取得すれば、原則として希望する大学等（医歯薬系、グランゼコール準備級を除く）に無選抜で入学できる。

3種類のバカロレアがある。

- 普通バカロレア(1808創設) 主に大学、グランゼコール準備級へ
- 技術バカロレア(1968創設) 主に短期高等教育機関へ
- 職業バカロレア(1985創設) 職業資格となる。主に短期高等教育機関へ  
    <高等教育の拡大（学生数）：31万人(1960) → 216万人(2000) 約7倍>  
    ※バカロレアが取得できるリセ及び職業リセへの進学率は約87%（2010年）

## バカロレア試験

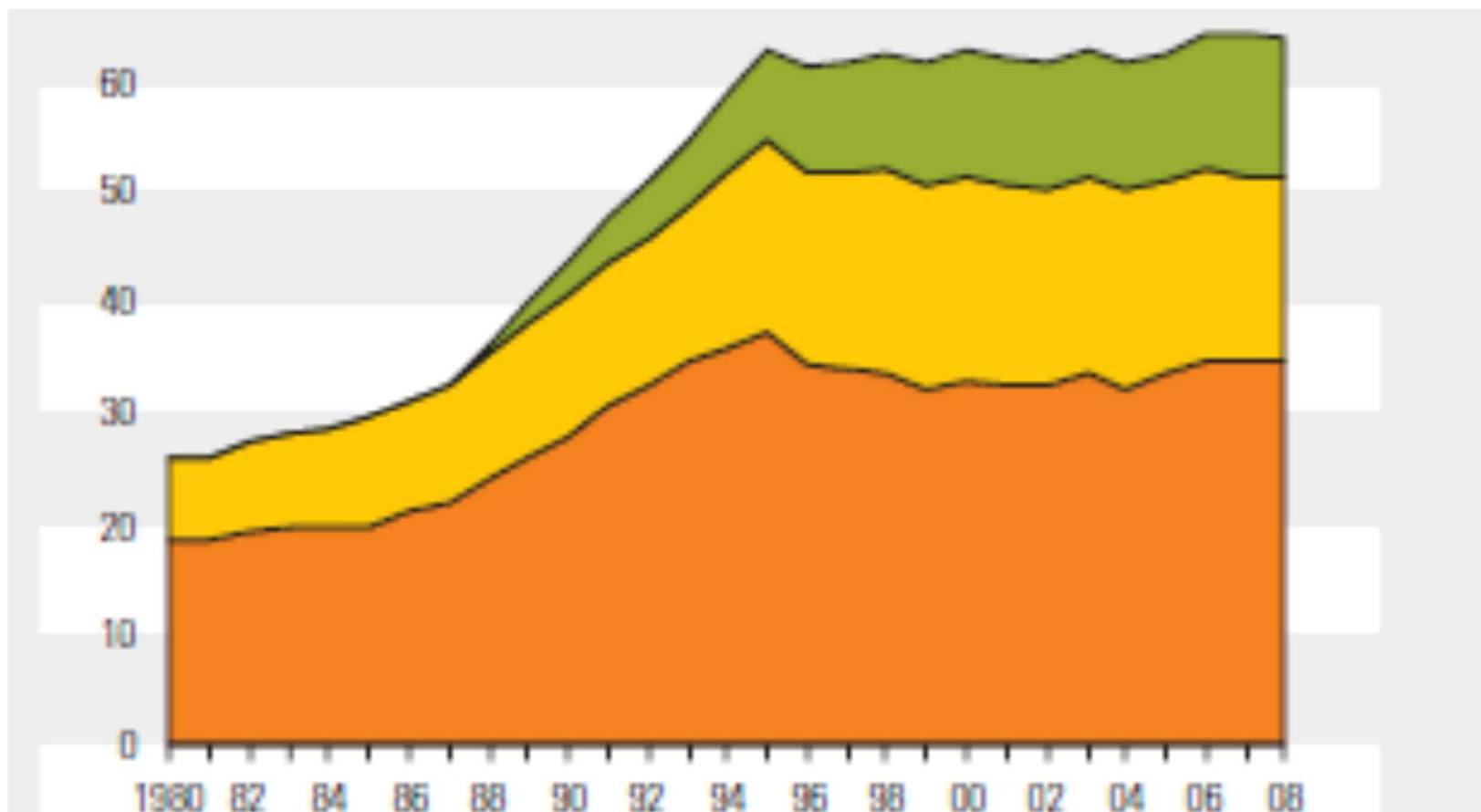
予備試験はリセの第2学年で実施される。個人の試験成績は予備試験と最終学年の本試験の成績と合算して計算される。総合成績は20点満点で10点以上が合格。

8～10点未滿の者は2週間後に追試験（口述試験）を受ける。

事故・病気等で試験を受験できなかった者は9月に実施される再試験を受ける。

本試験科目は6～9科目、年1回(6月)、5日間かけて行われる。

# バカロレア取得率の推移



- 普通バカロレア取得者 (バカロレア取得者全体の50%)
- 技術バカロレア取得者
- 職業バカロレア取得者

出典: フランス国民教育省HP

# 機会の平等化と修了資格試験制度

- 年齢人口に占めるバカロレア取得者の割合は  
80年に25%、90年に44%、2012年には66%に達した。
- 近年、予備試験の科目数を増やす傾向があり、個別課題学習なども予備試験の個人成績に加えられる。
- バカロレアはリセの教育のすべてを評価するといわれる。
- 近年、追試を受ける者は多く、受験者の1/3に及ぶこともある。
- 追試験に落ちた者は留年するか、もしくは予備校へ。自学自習の者もいる。8~10点未満の成績で離校する者には高校終了証書が与えられる。
- バカロレア資格は終身有効。試験の成績は5年間有効、科目別受験も可能である。
- 試験は記述試験と口述試験、試験問題と正解は公表される。
- 大学入学後に進級できない者が増えており、大学の第2学年に進む際に留年、転学、中退する者が1/4ほどいる(2009年は26%)。



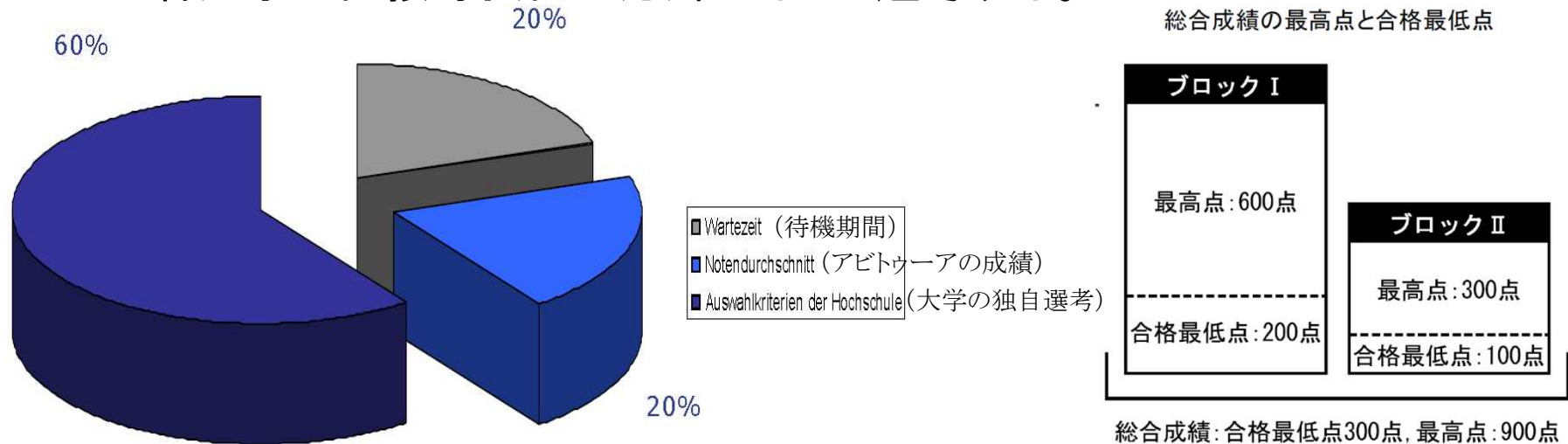
# ドイツの大学入学制度

アビトゥーア(1812年に創設)は大学入学のための国家的資格であり、取得すると、原則として希望する大学、専攻に無選抜で入学できる。

※アビトゥーアが取得できるギムナジウム及び総合制学校への進学率は約41%(2010年)

※年齢人口に占めるアビトゥーアの取得率は約36%(2010年)

医学部のように志願者が多く、入学制限を実施せざるを得ない学部は、大学入学財団(旧中央学籍配分機関)が、アビトゥーアの成績と待機期間を考慮して入学定員の20%を、アビトゥーアの成績で20%を選考する。残りの入学定員の60%は各大学が面接等独自の方針のもとに選考する。



# ギムナジウムの校内成績が 2 / 3

- アビトゥーアはギムナジウム最後の2年間の成績（600点満点）と最終学年で受けるアビトゥーア試験（300点）を総合して合否が決められる。アビトゥーア試験は3～4科目の記述試験と1科目の口述試験で行われる。校内成績もアビトゥーア試験もそれぞれ1/3以上得点しなければならない。300点が合格基準。
- 試験は年1回。各州ごとに実施される（2～4月に記述試験、3～6月に口述試験）。受験機会は2回限度である。取得したアビトゥーアは終身有効である。
- ドイツの教育システムでは、義務教育後に職業教育システムと大学進学のための普通教育システムに分かれるが、現在は両者を統合するようなシステムに近づける努力が続けられている。職業教育システムから大学進学へ進むことや、職業資格を学位等に読み替える仕組み（コペンハーゲンプロセス等）も検討されているが、大学進学の現状は親の学歴等による階層差が大きい。

# イギリスの大学入学制度

大学入学制度（イングランド、ウェールズ）を中心に

- ・ イギリスには統一的な大学入学資格はない。
- ・ 各大学の選抜に利用されてきたのは科目別の資格試験。
- ・ GCE(General Certificate of Education)AレベルやGCSE(General Certificate of Secondary Education)の試験がその要となってきた。
- ・ 大学進学する者は義務教育修了の16歳時にGCSEを受けて、シックスフォーム（第6級）に進む。シックスフォームではもっぱらGCEAレベルの試験合格に備える。
- ・ 大学への出願から合否決定までの一連の仲介、学籍配分の調整はUCAS（Universities & Colleges Admission Services)が行う。
- ・ GCEAレベル及びGCSEの成績のほか中等学校の内申書や面接結果により総合判定。

## 試験制度

- ・ 校外試験の機関はイングランドに3つ、ウェールズに1つある。
- ・ GCEAレベルに利用される試験科目は3機関合わせて60教科100科目以上ある。
- ・ GCEAレベルの試験に合格するには、シックスフォームの第1学年で該当科目の含まれるAS(Advanced Subsidiary)レベルの3 unit（unit；専門領域）を学び、まずASレベルの科目試験に合格する。ASレベルはAレベルの基礎編にあたる。
- ・ 第2学年で残りのA2レベルの3 unitを履修し、GCEのA2レベル試験を受験する。
- ・ 大学入学には通常、Aレベル（AS + A2）の科目が2～3科目の合格が条件。
- ・ 職業教育系統から大学進学する者を受け入れるためにVCE,AVCEなどの職業科目を取り入れた新しい試験制度もつくられた。

# 科目別資格試験制度

- GCSEはA \* ~ Gの8段階評価でGに達しないものは不合格。
- GCEのAレベルの指定は通常2~3科目。A \* ~ Fまでの7段階評価でFが不合格。一般の大学では通常A \* ~ Cの成績が評価対象となる。
- 記述試験は年2回、5~6月と1月。
- 試験問題、正解は公表される。
- 大学での面接は校外試験の最終成績が出る前の時期に行われる。このため、志願者がその時期に条件付き内定通知を受けるだけである。
- 志願者は5つの大学からオファーを受けられる。そのうち2大学をキープできる。

## 参考

General Certificate of GCSE(General Certificate of Secondary Education)

GCEAレベル(General Certificate of Education Advanced level)

GCEASレベル(General Certificate of Education Advanced Subsidiary)

VCE(Vocational Certificate of Education)は17~18歳に受験する。

AVCE(Advanced Vocational Certificate of Education)はVCEのAレベル相当に評価される。

資格試験制度による積み上げの確かさ

フランス

統一的資格基準

資格試験制度により大衆化に一定の歯止め

ドイツ

校外試験の成績重視

科目別資格試験の自由さと多様性

イギリス

機関個別の基準、選抜

多様性を支える科学技術の進展

アメリカ

後期中等教育機関  
の校内成績重視